

運営推進会議 目次

- 1.運営状況
- 2.サービス提供の方針
- 3.活動報告
- 4 地域の課題およびその支援活動
- 5 感染症に対する取り組み

【 運営状況 】

機能訓練型デイサービスとして午前・午後の2部制で3時間15分のデイサービスを運営各部とも18名定員。現在110名のご利用者様が利用。

スタッフ体制 施設長1名(常勤)生活相談員1名(常勤)看護師兼機能訓練指導員2名(常勤兼務)機能訓練指導員2名(常勤兼務)介護職員(リハビリトレーナー)3名(常勤)

午前9時から午後12時15分と午後13時30分から午後16時45分のともに3時間15分の機能訓練プログラムを行っています。いつまでも自分の足で歩けること、最後まで自分の家で過ごせることを目標に、リハビリマシンを使い筋力向上や可動域向上を目指し運動中心のリハビリプログラムを実施しています。

利用者の男女比は男性29名、女性81名(令和5年10月現在)年代別で66歳から75歳が14名76歳から85歳が58名、86歳から95歳が38名 96歳以上が1名です。

介護度は事業対象、要支援の方が65名、要介護の方が46名となっています。

【サービス提供の方針】

超高齢化社会に伴い、高齢者の社会福祉の充実が早急に求められています。

レッツ倶楽部前橋古市では、高齢者が居宅において運動機能を維持しながら最後まで過ごせるよう身体機能の維持・向上を図り個々の機能状態に合わせた機能訓練を行っています。

そして、現在、その予備軍を含めると65歳以上の高齢者の4人に1人とされている認知症の予防・改善にも力を入れ、取り組んでいます。

また、高齢者の死亡原因で常に上位を占める肺炎を予防していくために、口腔機能訓練を重点的に取り入れています。痛み改善のためマッサージも行っています。

- 【パワーリハビリ】 6 台の医療用リハビリマシンを使い全身の筋力や関節を動かしやすくする訓練。軽負荷で正しい姿勢、正しいリズムで各マシンを 30 回行います。
- 【個別機能訓練】 移動動作、トイレ動作、入浴動作、など生活に直結し機能の改善が生活の質をさせるプログラムをそれぞれの利用者様ごとに毎回 15 分程度行います。
- 【口腔機能訓練】 咀嚼訓練・嚥下訓練・呼吸訓練と別れており、利用者様のそれぞれのテーマ毎に看護師が毎回、小集団で実施。
- 【背骨コンディショニング】 姿勢や筋低下からくる痛みを取るために仙骨から首にかけての背骨を指圧し痛みを取り除く施術を介護士が実施。

【活動報告】

地域の高齢者に効果的運動と口腔予防・認知症予防を習得して頂くため、無料体験を実施。将来の福祉従事者を増やすため、近隣中学生の職場体験の受け入れに協力。

【地域の課題およびその支援活動】

前橋の東地区は大利根地区をはじめ高齢者のみの世帯が大変増えてきています。民生委員やご利用者様からの情報を得て、高齢で生活がままならない方に介護保険の概要を大まかに説明し、必要に応じて地域包括支援センターへと繋ぐ支援活動を行っています。

【感染症に対する取り組み】

新型コロナウイルスはいまだ、変異しながら感染を広げています。施設では、職員のマスク着用や常に換気を行い、新型コロナウイルスの施設内感染を防いでいます。今まで、施設内で感染が確認され利用者間で広がるようなことは起こっていません。

【施設に対しての要望、その他】

地域代表の方) 利用されている方の体調が改善していると聞いている。
高齢になり元気に過ごせることはとても重要だと思う。

介護保険課の方) 民生委員との連携で地域の高齢者に介護保険の仕組みなど説明して必要に応じて包括支援センターに繋げて頂いていることは大変感謝しています。また、コロナ感染は春、秋よりも暖房、冷房を必要とする冬、夏に増える傾向が依然とあります。これは、暖房、冷房のため換気が減ることが原因です。今後も換気はずっと続け、コロナ感染防止に尽力して頂きたいです。